



相生だより

12月号 令和3年11月30日

大田区立相生小学校

校長 山口 勝己

学んだことを活用する、ということ

副校長 山崎 禎久

先日は、本校の学習発表会に多数お越しいただき、ありがとうございました。どのお子さんも、それぞれ練習を積み重ね、本番で自分の役割をしっかりと果たしていたと思います。

あるお子さんは、本番で初めて、自分の役割をほぼ完璧に果たすことができたそうです。しかし、その成果は、前日の夜まで、帰宅後もずっと練習を繰り返すという、地道な努力の積み重ねがあったからこそのものであったと聞いています。一人一人が、そういった努力を積み重ね、本番当日を迎えたことをふまえ、改めて各学級で自分の努力や成果について、振り返っているところです。

また、今回の学習発表会は、音楽、国語、道徳、総合的な学習の時間(SDGs、福祉、キャリア教育)で学習した内容はもちろんのこと、待っているときの態度、歌うときや自分が言葉を発するときの発声方法など、学習以外で学んだことも発表する機会となりました。

学んだことを活用する、ということが、これからの学習だけでなく、子どもたちが大人になったとき(「厳しい挑戦の時代を迎えている」と言われています)に、必要なことになっていくと考えています。それは、「単なる知識や技能の獲得だけではなく、それらをどのように活用して、今後直面していくであろう様々な問題を解決していくか」がこれからの学習に求められるということです。各学級では、そういったことを念頭において、授業改善を進めています。

学んだことを活用する、という意味では、子どもたちが現在使用しているタブレット端末について、本校では検討・改善を続けています。

大田区から貸与され、現在授業で活用しているタブレット端末(chrome book)は、ドリル学習に取り組んで学習内容の定着を図ったり、学習活動に必要な情報を検索して獲得したり、友達との意見交換や話し合い活動をこれまでと違う形で充実させたりするものです。

このようなタブレット端末の使い方は、各学年の発達段階に応じて学習しています。ここで学んだことは、これからの学習を一層充実させるだけではなく、今後の社会において、ますます必要となるものだと考えます。

タブレット端末は、ゲームやお気に入りの画像等を楽しんだり、自分の趣味のためのネット検索を行ったりするものではなく、自分の学習の充実させるためのものです。子どもたちが今後も一層、自分の学習に活用できるようにするために、ルールづくりや授業における効果的な活用方法について、実際の授業で取り入れながら、検討・改善を続けていきます。

12月の生活目標

◎身のまわりをきれいにしよう

・進んで掃除をしっかりとしよう